

医療専門メーカーのこだわり 足の疲れ、痛みを ぐぐぐとサポート！

スポーツの
後に！
ご旅行に！
立ち仕事
の方に！

お帰りの際や
ご自宅で装着
してください。



※くつ下の上からでも
巻いていただけます。



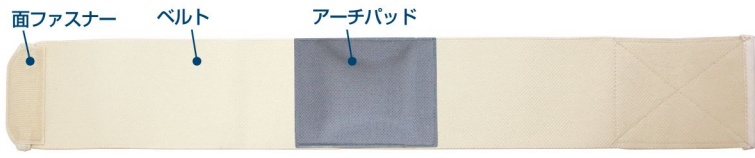
2つのアーチで、
足裏をぐぐぐと押し上げる！



かかると足裏アーチ使用後は土踏まずのアーチ形成がな
されていることがわかります。

8の字ベルトでしっかり固定

- 体重がかかっていない時にも、
継続的にアーチ形成！
- 室内など靴を履かない場面でも
お使いいただけます。
- アーチパッドの位置がずれにくい！

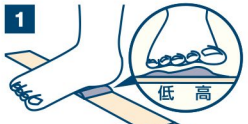


ベルトで特殊形状のアーチパッドを押し上げ、 土踏まずのアーチをキープ

人は朝起きて活動をしていると、徐々に土踏まずのアーチ
がさがつてきます。アーチがさがつてくると、足や足裏に
疲れ、痛みなどを感じます。特に立ち仕事の方や、運動
などの後には顕著に現れます。この痛みや疲れを改善
するには、土踏まずのアーチを正しく形成する必要があります。
「かかると足裏アーチ」は、足裏に特殊形状
のアーチをベルトで引き上げ、正しいアーチをサポート
します。足裏に疲れを感じたら、「かかると足裏アーチ」
をお試しくだささい。

装着方法

(右足の場合) ※本品は左右兼用です。



アーチパッドの高い山の方が土踏
ます側になるように、足をおきます。



ベルトを適当な強さでひっぱり
ながら、8の字状に足関節を巻き
込みます。※強く巻き過ぎると
血行がわるくなる恐れがあります
ので、ご注意ください。



足関節の後ろ側で、ベルトの面
ファスナーを装着するよう調整し
てください。

開発者

変形性膝関節症に関する新型足底板
の研究で、開業医として史上初となる
『日本整形外科学会奨励賞』を受賞。

医療法人貴晶会
戸田整形外科 リウマチ科クリニック理事長兼院長
戸田 佳孝 (とだよしたか) 先生

現場の声

足裏感覚の意識向上

健康運動指導士
三宅 玲子

- アメリカフィットネス協会パーソナルトレーナーホリスティックコンディショニング協会、フィジカルコンディショニングトレーナー
- 東急スポーツオアシス アルフェパーソナルトレーニング指導
- 広陵高校 体操部トレーニング指導

体操クラブの指導をしています。扁平足の生徒がおり、足の動きが悪く、しっかりと踏みしめて片脚で立つことが苦手で、この生徒達が装着したところ、土踏まず、足の指へと体重が移動する感覚が良くわかり、装着後もその感覚が継続します。足裏感覚の意識向上にも良いのではないかと思います。

「かかると足裏アーチ」は元々扁平足や足底筋膜炎患者様に開発された医療用サポーターを足に悩みを抱えた、より多くの方々にご使用いただくために改良した商品です。本商品はアーチパッドが高低2つの山で形成されているのが特徴です。数々の研究結果から導き出した結果として高い山は14ミリメートル、低い山は9ミリメートルとし、足裏内側・外側2本の縦アーチを押し上げ、更には足指にかかる圧力を分散させる構造にしました。4週間の調査で、1つの山のものとの痛み具合を比較すると、2つの山の方が改善の具合が大きく、足首の痛みがでるなどの副作用もなくまりました。

扁平足の患者さまに
オススメしています

当院では扁平足が原因の痛みがある患者様に対して、「かかると足裏アーチ」を巻き方などの指導をしてからオススメするようにしています。

土踏まずのアーチを持ち上げる時、ただ土踏まずに物を入れるだけでは捻挫の原因になります。この「かかると足裏アーチ」の素材は適度に柔らかく、特殊な形状で足の角度を保てるため捻挫の心配も少なく、効果的にアーチをサポートすることができま。

まつむら鍼灸整骨院
院長 松村 正隆

- (社)日本柔道整復師会々員
- (社)兵庫県柔道整復師会々員
- 鍼灸師
- 柔道整復師
- 夙川学院柔道部トレーナー 兼コーチ
- 柔道四段

お客様の声

翌日の疲れがぐぐと違います！

神奈川県在住
山口秀雄様(60代)

飲食店を経営しており、毎日料理を作っています。ずっと立ち仕事です。ずっとよく足や足裏が痛くなります。今回、この「かかると足裏アーチ」を帰宅して約1時間着用してみると翌日疲れがぐぐと違いました。足首の軽い締めつけがとても気持ちよく、今後も毎日使いたいと思います。

歩くのが楽しくなりました。

神奈川県在住
松崎あい子様(80代)

しばらく歩くとき疲れを感じていました。この商品は取りあえずが簡単で、長時間かかると、使った後は足が軽くなった感じがします。このようなベルトは今までに使用したことがなく、歩くのが楽しくなりました。これからも使っていきたいと思います。